あなたの生涯学習を応援する情報紙

2014, 11, 1

文化生涯学習課

楽しみを見つけませんか! お仲間と、ご一緒に…



りサイクル品展示室に宝物

9月25日の午後、嵐が静まり澄んだ青空に心が洗われました。 私たちは萩園にある茅ヶ崎市環境事業センターに出かけ、リサイクル 品展示室を見学しました。

センターの大川浩英さんが案内して下さり、展示室に入るとピカピ 力の家具などが目にとまり、どれも新品同様と思うほどのすばらしい 出来映えで驚きました。

そのリサイクル品を再生させる名人が清水貢さんです。

作業場には再生に必要な部品が分類箱にびっしり詰まっていて、こん な物まで使えるの?と思うくらい何でも役にたててしまう、まるで魔 法使いみたいと思いました。清水さんは週3回くらい修理の仕事をし ています。

展示期間は毎月1日~7日まで(土・日・祝日も含む) 10:00~12:00、13:00~15:00。ただし1月はお休み。 抽選は毎月7日の展示時間終了後です。

皆さんも是非一度お出かけして、欲しい品物を見つけてくださいね。 お申し込みは備え付けの申込書で(1人2点まで)。 市内在住又は在勤の18歳以上の方となっています。



リサイクル展示品 (毎月35点が出展され、市 HP でもご覧いただけます。)

平成8年4月から、環境事業センター内に「リサイクル品展 示室」を開設いたしました。収集した大型ごみの中から、リサ イクルが可能と思われる品物(主に家具類)を選別し、修理を 行った後、展示室に展示し、抽選で提供しています。



大川浩英さん



清水貢さん (非常勤嘱託職員)



環境事業センターリサイクル品展示室 〒253-0071 茅ヶ崎市萩園 1085 電話: 0467-57-0200

茅ヶ崎駅から神奈中バス停「西の谷」下車後、 環境事業センターまで徒歩10分程度



まなびの市民講師紹介

P2. 調理・食育講座「広瀬啓子さん」 P3. 組紐「道明三保子さん」









あなたの学びのお手伝い

広瀬啓子さんにお話を伺いました。

「私、すっぽり飯が大好きなんです。」

食に対する熱くひたむきな思いに溢れていました。

一時、ご体調を崩されていたまなびの市民講師の広瀬啓子さんが元気 なお姿をお見せくださり、食や食育について熱い思いを語ってください ました。



「若い頃からおいしい物に出会うと、すぐその場で作り方を教えていただきました。そうしてレシピを少しずつ集めて、それを基にして自宅で料理教室を開いたのがスタートでした。」

そんな実践を積む中で野菜ソムリエや食育ソムリエ、食育マイスター、食育インストラクターなどの資格を取得したとのこと、パンやケーキの作り方は化学に裏付けされたものなので、専門学校に通って勉強したそうです。

「パンやケーキの作り方も教えますが、私は一汁三菜の日本型食生活を大事に しています。炊きたての白いごはんのすっぽり飯が大好きなんです。」 因みに、「すっぽり飯」とは御飯だけを食べることだそうです。

「食材を生産している現場にも行きます。現場に行けば生産者の苦労が分かります。生産者の気持ちが分かれば、食材を大事にしますよ。」

「近頃、箸の持ち方など食に関する大切なことが家庭では伝わらなくなりました。食育の必要性を強く感じます。」

こんな思いを伝えていこうと、食に関する本を刊行すべく執筆中だそうです。

「生きるために食べていた時期、楽しんで食べていた時期、食べる事を学び、それを伝える道を 開いた時期に分けて執筆しています。」

きっと好著が出来上がるでしょう。一日も早い刊行が待ちどおしいですね。



野菜教室の様子



子ども達に教えた 茅ヶ崎産野菜で作ったカレー

「時季に合った食べ物をいただくようにしています。レストランでランチもいただきますが、茅ヶ崎産など地元の食材を中心に食べるのが私の食生活の基本です。もう少し元気になったら、お年寄りの料理教室をやりたいですね。与えられた食事ではなく、それぞれの調理の仕方をお互いに教え合いながら自分の食事を自分たちで作るのです。」

広瀬さんの食や食育についての思いは尽きることがありません。 夢は広がっていくばかりです。取材に当たった私たちも食生活を もっと大切にしようと改めて教えられました。

広瀬さんの更なるご活躍を期待しましょう。

ご興味を持った方は広瀬さんに直接お問い合わせください。

【ご連絡先】

電話・FAX 0467-54-4792 メールアドレス atrie.kei@gmail.com

「まなびの市民講師」の横顔







道明三保子さんにお話を伺いました。

「2時間で組紐の ストラップ?」

~あなたにもできます~

「初めてでも2時間で組紐のストラップを作り上げることができますか。あの複雑そうな糸の動かし方を理解できるのでしょうか?」

大丈夫です。玉のついた糸の動かし方を図解したものを用意します。なるほど〜と返事をしながらも頭の中は??だらけ。しかし、面白そうです。色彩の美しい絹糸を使うのも色合わせも楽しそう。男性は組紐の構造に興味を魅かれるらしいです。



組紐の帯締め

組紐の歴史や種類を静かにお話されました。平家納経の巻緒や四天王寺蔵の懸守(かけまもり)、 そして仏像内の五臓六腑としても使われていたとのことです。大学では染織や絹のことなどを教え ていらっしゃるので、お話の内容が興味深くいつまでも聞き続けていたいほどでした。



組紐のストラップ

2013年には茅ヶ崎市美術館で北大路魯山人の陶器の色を使い組紐のストラップ体験教室を開かれ、予定の3倍の応募があるほどの人気でした。2014年10月は湘南の風景の絵画の色の組紐のストラップです。日本の伝統文化を大切にしながら現代風にアレンジしたいとおっしゃっています。由緒ある組み方や伝統的な柄を活かしつつ、新しい色使いが増えれば楽しみが益々広がりますね。

組紐の組み方は無限!日本ならではの趣味を始めてみませんか。

自主企画講座「和の伝統工芸、組紐をたのしむ」

内容:組紐ストラップの製作、日本の組紐の歴史の話、作品鑑賞

日時:11月15日(土) ①10時~12時30分 ②13時30分~16時

29日(土) ③10時~12時30分 ④13時30分~16時

場所:①②市民ギャラリー会議室B ③④講師自宅 費用・持物:1,000円(材料費、資料代)、筆記用具

定員:各回10名(先着)

お申込み・お問い合わせ:電話080-3083-6669へ







『沖縄空手に魅せられて』

沖縄上地(うえち)流唐手道協会 湘南修武館館長

郷里熊本を離れ、都内の大学(八王子市)へ進学と同時に下宿先アパート近くの沖縄空手道場に入門しました。 父親が空手経験者だったことや、当時中国カンフーのアクション映画(ブルース・リー主演)に触発されての「第 一歩」でした。

入門以降、沖縄の先生方にご指導頂きながら国内外の仲間たちと交流研鑽を重ねるうちに、修行35年、地元 湘南で指導を行うようになって20年の月日が経とうとしています。

まさかここまで空手を続けるとは、入門当時は考えてもいなかったので自分自身でも驚いていますが、一つの ことに立ち止まることなく黙々と打ち込むこと=「継続は力なり」で、空手は今や私の人生にとって欠くことの できない「伴侶」とも言えます。

「空手に先手なし」「人に打たれず人打たず」。

沖縄空手の神髄は究極の平和を求める心にあります。

自分のペースで無理をせず、生涯をかけて己と向き合う、 己を磨く素晴らしい武術を、皆様にも是非体験頂きたい と思います。

ご連絡先:0467-53-9073

メール: okikukai_chigasaki@yahoo.co.jp

会員数: 230人

入会費/月会費: 4,000円/3,000円

稽古場所:茅ヶ崎市内、藤沢市内等湘南エリア全域

近ごろ思うこと

まなびの市民講師 小野寺 清さん

(社労士たまごの会地域支援チーム)

趣味はあくまで趣味であり気楽に楽しみた い。新しく始めたコーラスも趣味の一つであ るが、だんだんと趣味というだけでは済まな くなる。自分の失敗が他のメンバーに不快感 を与えるからで、これが結構プレッシャーに なる。自分の趣味で得た技能を人に教えるの も同じであろう。教えられる立場を考えると かなりの準備も必要でこれもプレッシャーと なる。このプレッシャーが気にならなくなっ て初めて趣味を楽しむことになるのかもしれ ませんね。



「シンプルライフ」

「あれがない!」と思ったら「これでなんとか」とみつ けだす。「これいらない!」と思ったら「こんな風に使っ てみよう」と工夫する。いちいち買ったり、捨てたりせず に、ちょっと立ち止まって知恵をしぼって考えてみましょ う。案外いいアイデアが浮かんで逆に生活の楽しみがアッ プするかもしれません。

確かに新しいものを買う方が楽できれい。でも工夫して 再利用できたり、かわいくリメイクできると、思わず人に 自慢したくなってしまいます。

こんな暮らし方はシンプルライフの一つかもしれませ ん。単に節約するのではなく、物を大事にしながら毎日の

暮らしに小さな喜びを見いだせたら素敵ですね。

小八 の母 鳥くる島に 話 顔の 規山 鳥 来る木 は胸 記の 短 ほに 念 城 覚えて帰る文 句 歌 ろ 抱 に 酔か 椅 達は いれ 一つの診療 伊 ば . 母 の 民文化祭受賞 げ乳 藤要次選 眼 下に を 化 指 飲 み終 は 石川 Ш 朝 島 本 える幼子 に訪 句 和 誠



今年度、我が家は自治会の組長、 学校の委員などがまわってきてい る。今まで関わることのなかった 方々と言葉を交わすことで、人のつ ながりが増え生活が新鮮になった。 今の自分自身のモットーは、壁を壊 すこと(^^)幸せがたくさん舞い込み ますように!

*未発表の短歌・俳句作品を募集しています。下記宛先へ12月1日(月)までにご連絡ください。

*次号(第68号)の発行予定は、平成27年2月1日です。

どこでも なにからでも いつでも だれでも

発行・編集 エコー・ちがさき編集委員会

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号 茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課

TEL0467-82-1111(代表) FAX0467-58-4265 E-mail: bunkashougai@city.chigasaki.kanagawa.jp

PC 用 URL http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/ 携帯用 URL http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/

2015